

しんち

議会だより

2026・1・20
No. 188

新地発電所 煙突ライトアップ

新地町発電所1・2号機が営業運転30周年を迎えたことを記念し、12月23日から煙突のライトアップを開始しました。

今後は通年で実施され、季節やイベントに応じて多彩な光でライトアップされる予定です。

〈12月定例会〉

- 定例議会の概要 …… 2～3
- 町政を問う …… 4～11
- 議会傍聴 …… 12
- 常任委員会レポート …… 13～15
- ようこそ新地町へ …… 16

12月定例会

12月定例会のあらまし

令和7年12月定例会は、12月5日から10日までの6日間の会期で開催され、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定や職員等の給与に関する条例の一部改正、一般会計・特別会計補正予算など、追加議案3件を含む全16議案を審査し、原案のとおり可決した。

また、8日と9日には7名の議員が一般質問を行った。

条例

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の改正により、新たに認可事業として位置付けられる乳児等通園支援事業（いわゆる「こども誰でも通園制度」）について、国の定める基準に基づき、設備及び運営に関する基準について町の条例で定めることとされたため、制定するもの

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

額を引き上げ、一般職員、定年前再任用短時間職員（暫定再任用職員）の期末手当、勤勉手当の支給割合をそれぞれ0.025月分引き上げるため、所要の改正を行うもの

下水道条例の一部改正

地方公共団体情報システム標準化に伴い、住登外者（町の住民基本台帳に登録されていない者）の登録・管理を行う「住登外宛番号管理機能」を新たに導入することから、所要の改正をするもの

るよう、仕事と育児の両立支援制度等に係る措置を定めるため、所要の改正を行うもの

個人情報情報の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部改正

下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正

地方自治法の一部改正により、引用している条例において発生した条ズレの整理を行うため、所要の改正を行うもの

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

専決処分

福島県人事委員会勧告及び職員の給与に関する条例改正をふまえ、期末手当の支給割合を0.05月分引き上げるため、所要の改正を行うもの

公用車による事故の損害賠償額の決定について、地方自治法180条第1項の規定に基づき、専決処分し報告するもの

職員の給与に関する条例の一部改正

福島県人事委員会勧告に準じ、全ての号給の給料月

本格実施へ

令和8年4月より こども誰でも通園制度

補正予算

一般会計補正予算（第3・4号）

歳入歳出それぞれ

5735万円追加し

総額61億7155万円に

一般会計補正予算の主な事業

新地駒ヶ嶺線の測量調査設計費	1,000万円
ふるさと納税者報償品	600万円
障害福祉サービス費等	560万円
ふるさと寄附金対応業務	400万円
エネルギーセンター修繕費	258万円
総合体育館修繕費	112万円

一般・特別会計等補正予算の概要

会計別	補正額	補正後予算額	
一般会計（3・4号）	57,346	6,171,546	
特別会計	国民健康保険	1,415	913,760
	介護保険	17,331	235,163
合計	76,092	7,320,469	

会計名	補正予定額	補正後予算額	
下水道事業	収益的収入	95,068	399,620
	収益的支出	159,315	463,867

陳情・要望等（12月定例会）

議会では、地域住民より直接の声となる、陳情、請願、要望等を受付けています。今定例会では、下記のとおり受付ました。

	件名	提出者	審査結果
陳情	物価上昇に見合う年金引き上げを求める陳情書	全日本年金者組合福島県本部 執行委員長 佐藤 征司	採択 (意見書に関係 機関に 送付)
	「院所・事業所の継続とケア労働者が働き続けられる環境整備のため、診療報酬・介護報酬など公定価格の引き上げを求める意見書」の提出について	相双地方労働組合総連合 議長 大友 浩介	
	「最低賃金を引き上げやすい環境整備のために、中小企業・小規模事業者支援の拡充を求める意見書」の提出について	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章	印刷して議員に配布
要望	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 日本教材備品協会 会長 大久保 昇	印刷して議員に配布
	学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い		

ただ
ここを質す!

一般質問

町政を問う

今定例会の一般質問は、12月8日・9日に行いました。
議員7名からは19件の通告があり、有害鳥獣対策や企業誘致、コミュニティバスなどについて質しました。
各議員からの質問内容は、左記のとおりです。
以下、主な質問と答弁を、登壇した順にお知らせします。

7名の議員が質問

- てら しま ひろ ふみ 議員 P5
寺 島 博 文
1 有害鳥獣対策について
2 企業誘致について
3 鹿狼山駐車場について
- おお うち ひろ ゆき 議員 P6
大 内 広 行
1 公共工事について
2 省エネの取組みについて
3 コミュニティバスの今後について
4 スポーツを軸とした交流・関係人口の拡大について
- よし た ひろし 議員 P7
吉 田 博
1 町の財政について
- うし さか つよ し 議員 P8
牛 坂 毅 志
1 機構改革について
2 消防団員の処遇について
3 スポーツ振興について
- いの うえ かず ふみ 議員 P9
井 上 和 文
1 有害鳥獣対策について (熊対策含む)
2 物価高対策について
- てら しま ひろ ふみ 議員 P10
寺 島 浩 文
1 保育士確保について
2 企業誘致について
3 移住定住施策について
4 空き家バンクについて
- むら かみ かつ のり 議員 P11
村 上 勝 則
1 令和8年度当初予算の編成方針について
2 緊急時避難調査について

クマ対応マニュアルは

回答 今後策定していく



問 全国でクマの出没が相次ぎ、人身被害や、農作物への被害が深刻な社会問題になっている。クマ対応マニュアルについて伺う。

回答 クマ対応マニュアルについては、法律の一部改正により、緊急銃猟が可能になった。福島県で基本マニュアルが作成されたので、町も今後策定していく。

問 新地町でも目撃情報があるが、令和7年の目撃情報と、その検証結果は。

回答 令和7年は8件あったが、クマの痕跡は見つかっていない。

問 狩猟者は、自身の狩猟技術の向上、地域社会と自然環境を守る極めて重要な役割を担っている。猟友会へ支援についての考えは。

回答 町は年間活動費として、60万円補助している。他、射撃技能の維持向上の為、射撃訓練費用を助成している。

問 捕獲隊は日常的に箱わなの設置や、イノシシなどが掛ればその処理などの

維持管理をしている。クマの目撃情報があれば、町職員と共に、現場に向かっている。そのご苦労に対し、見回り手当を支援してはどうか。

回答 町で60万円、他でも補助されている。予算の範囲内で実施していきたい。

問 狩猟者の高齢化に伴い、今後、担い手不足が課題になる事が考えられる。狩猟者の担い手育成についての町の考えは。

回答 新地町有害鳥獣捕獲隊は年々高齢化している状況。捕獲隊入隊を条件とした支援を検討していく。

問 誘致活動の現況と、今後の取り組みについて伺う。

回答 駒ヶ嶺工業用地、新地駅東口事業用地、津波復興拠点拡大区域、集団移転跡地などへの誘致活動について、鋭意努力していく。

問 駒ヶ嶺工業用地は、工業用地として適していない。

い。町の考えは。

回答 駒ヶ嶺工業用地は、誘致の対象が、製造業と運輸業に絞られている。今後は、対象業種を広げていく。

問 スーパーの誘致は、地域住民の利便性の向上に不可欠で、特に高齢化が進む地域においては、買い物弱者対策としても重要である。現在の状況と、今後の取組みについて伺う。

回答 国内でスーパー事業を実施している民間事業者約20社に、ダイレクトメールにより、当町事業用地の案内文書とあわせ、進出意向アンケート調査を実施した。

前向きに進出を検討いただける事業者があり、交渉を進めてきたが、進出に至らなかった。交渉していない事業者が複数あることから、交渉しているところであり、誘致に向けて鋭意努力していく。



▲安全対策が求められる道路

問 鹿狼の湯及びまあるの庭から、道路を下って来ると、車が突然トイレ前駐車場から飛び出すことがあり、とても危険だ。事故防止のため、注意を促す道路表示や、看板を設置すべきでないか。

回答 現状、道路と駐車場の境界がない状態であり、安全面は、運転者に委ねられている状態にある。今後、安全面を考慮した改善をしていく。



大内広行 議員

公共工事減少で地域への影響は

回答 地元業者の経営・雇用へ影響ある

問 公共工事発注額の減少理由とそれによる影響はどのように考えるか。

回答 公共工事の減少は、前年同月比で、件数で13件、金額で3億3千3百万円である。要因は水産共同作業場設置工事、鹿狼山駐車場整備工事が完了したこと、災害復旧工事が令和6年度で終了しており、今後は交通安全事業、橋梁補修事業等維持管理系の工事が主となる。公共工事発注額の減少により地元業者の経営や雇用への影響はあるものと考えている。

問 地域雇用安定と経済循環の維持のため、今後どのような公共投資の確保策や地元業者の支援策は。

回答 地元建設業者はインフラ整備や災害等の対応で大きな役割を担う。厳しい財政の元、国県の補助金などの財源確保に努める。

省エネの取組み状況は

回答 CO₂削減目標の年3.0%を達成

問 町の省エネの取組み状況について伺う。

回答 防犯灯、屋外照明等のLED化太陽光発電システムの導入、公用車のEV導入等により、CO₂削減目標の年3.0%を達成している。

問 課題と更なる効率化へ向けた具体的な方策は。

回答 設備投資を伴うため財政面で課題と考えているが、引き続き照明のLEDへの交換、公共施設への太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー設備について検討していく。

問 町内公共施設の電力契約をコンサルタントを入れて一元化し、効率化を図ってはどうか。

回答 電力契約には、設備に即し高圧低圧等の各種契約があることから、一括契約は難しいと考えている。

しんちゃんバスの見直しは

回答 1月1日より実施

問 しんちゃんバスの利用状況を踏まえた課題と今後の運航計画、利便性向上、持続可能な運営体制の確立の考えは。

回答 ルート内フリー乗降の導入、運休日の変更、運行時刻表の変更の三点を1月1日より実施。(12月広報掲載済み)

問 路線バス方式への変更前に実証試験をすべきだったのではないか。

回答 過去の議会一般質問での意見・要望を踏まえ必要な事業と判断し、「新地町地域公共交通会議」の承認を得たうえで、二次交通手段として事業化したものである。

問 過年度に「市街地復興効果促進事業」として「コミュニティ交通事業化検証調査」があるが、その事業の内容と結果は。

回答 事業内容、結果を確認する。

問 全国でコミュニティバス運行が行われている。最新のAI活用オンデマンド交通等最新のDX技術の導入を検討すべきでは。

回答 今後の事業状況を確認しつつ検討していきたい。

回答 過去の検討結果、周辺地域の状況より、新たに整備する考えはない。



▲相馬市の尾浜ビーチバレーボール場

公債費が多いのでは

回答 健全な財政運営に努める



吉田 博 議員

問 歳入の多くは町税と交付税で占めており、歳入を増やすには企業誘致が必要と思うが町の考えを伺う。

回答 歳入を増やすためには企業誘致が必要と考えられており、駒ヶ嶺工業用地新地駅東口、スーパーマーケット用地、集団移転跡地など利活用事業者の誘致に鋭意努力したい。

問 町の積極的な介入によって農水産物の加工品を多く生み出し町民の利益を誘導しながら、ひいては町の税収増加につなげることも可能と思うが町の考えを伺う。

回答 基本的には、民間の活動であり、新地町では起業家支援事業や、新たに事業活動を起こす方には支援しており、国や県が用意している補助事業についても情報の提供をしている。

問 自治体が豊かな財政作りをするには国の補助金をいかに有効活用するかによろと思う。職員の負担軽減も含め、国の人材派遣支援制度も活用すべきではないか町の考えを伺う。

回答 人材支援制度を利用する場合は、地域要件や財政基準、町が求める専門人材のマッチングなどの問題も有り、国の派遣制度に關しての資料収集をしながら進めたい。

問 物価高による町民の負担が多い中で、支援策を講ずるべきと思うが、町の考えを伺う。

回答 物価対策について令和4年には生活困窮世帯、漁船支援事業、肥料高騰対策事業などを行い、令和5年には子育て世代特別給付金、低所得者世帯の支援事業を行うと共に、令和6年には町単独支援事業として、物価高騰支援給付金を実施し、令和7年度は低所得者世帯に給付金の支給を実施している。

問 町内3小学校の経費負担が多くなってくると思う。統合を検討すべきと思うが、町の考えを伺う。

回答 学校統合の検討にあたっては、児童生徒の教育条件の改善を視野に、地域との合意形成を第一と考えられており、現時点での統合は考えていない。

問 今年度から町内学校給食無償化が開始された。国では来年度から学校給食の無償化を検討しており、なぜこのタイミングで無償化に踏み切ったのか伺う。

回答 厳しい財政事情ではあるが、子育て世代の負担軽減や、食育推進の必要性を鑑みて今年4月より実施した。

問 公債比率が高くなっているが、このことについて町長はどのような意見を持っているのか伺う。

回答 歳入面でLNG関連企業の進出により増加した固定資産税が令和3年度をピークに減少していること、過去に町



▲一部起債で建設した駒ヶ嶺公民館

等が借り入れした公債費に加え、据置期間が終了した公共施設の建設等の償還が令和6年度より始まったことが主な要因と考えられる。国が定めた基準を超えないよう健全な財政運営に努めたい。

※据置期間・元金返済が猶予され利息だけを払い込む期間のこと



牛坂毅志 議員

機構改革の成果は

回答 町民に良質なサービス提供を

問 機構改革が町民の暮らしにどの様に反映しているのか。
回答 「施策の推進に適した組織」「効率的で行政課題に対応できる組織」「町民にわかりやすく利便性の高い組織」の三点を基本方針として機構改革を実施。特に町民の暮らしに直結する「町民にわかりやすく利便性の高い組織」の部分について、具体的には、町民課と健康福祉課にまたがっていた子育て関連業務を保健福祉課に統合し、子ども子育て窓口の一本化を行うことで切れ目のない子育て支援を進めている。

問 機構改革が町内の各事業者に対してどのような効果があったのか。
回答 建設課と都市計画課を統合、町道整備・下水道整備の担当窓口が一本化され、関係事業者との連携が取りやすくなった。また、商工観光部門を産業振興課・商工観光係に移し、より商工観光関係の業務に注力できる体制となった。

問 機構改革が、町長の政策にどの様に反映されているのか、また反映させるのか。
回答 これまで各課で実施していた政策的な事業を企画政策課に集約し、進捗を図っていく。



▲町民に分かりやすい行政サービスを

問 消防団員が減少している。報酬引き上げなど処遇改善を図るべきでは。
回答 令和5年4月から、団員の年額報酬を2万4千円から3万6千5百円に増額、火災や訓練など、活動に応じた出勤手当の支給（1日の支給上限を8千円とし、2時間単位で2千円

消防団員の処遇改善の必要性について

は緩衝帯の整備が重要だ。耕作放棄地や遊休農地等管理、森林整備事業、定点カメラ設置等整備していくべきだ。



▲フットサル場の積極的なPRを

支給）、引き続き、消防団員の確保に努める。

スポーツ振興について

問 より人が集まるフットサル場の活用策の考えを伺う。
回答 今後も施設の利用促進に向けて、JR新地駅を中心として宿泊施設や温泉施設、複合商業施設や文化交流センターなどが集積する好立地エリアのスポーツ施設としての情報発信に取り組みとともに、町観光協会等と連携・協力しながら、積極的なPRに努める。また、フットサル以外の運動や活動による利用促進も図る。



井上和文 議員

抜本的なクマ対策を

回答 町民の安全安心を確保していく

問 連日クマの報道は見えない日がないほど深刻な社会問題になっている。異常な事態に福島県は、10月に3千万の補正予算を専決処分し、対策を担う市町村に対し、鳥獣対策の専門家を派遣する。クマの出没を予防するため、河川敷の草刈りを行う。ドラム缶式の箱罾や、クマ撃退スプレーといった対策資材を県が購入し、市町村に配布するという中味のような。国では11月にクマ対策パッケージを実施するとしている。県では河川敷の立木、藪の草刈り、刈払い箇所を拡大し、クマ出沒抑制を図るとして、11月にツキノワグマ緊急対策事業約9千7百万を予備費充用で実施するようだ。一方、新地町の鳥獣被害防止計画は、令和6年に作られ、令和7年から9年までの3か年の計画だが、対象にクマが入っていない。仮にクマを捕獲してもイノシシなら2万6千円出る報奨金も出ないことにな

る。早急にクマを指定し、県の緊急対策事業を活用し、人的、財政的支援や、河川敷の刈払い事業等取り組むべきだ。
回答 新地町鳥獣被害防止対策は、鳥獣による農林水産業等に係る被害防止の施策として位置づけられており、現段階ではクマによる被害が確認されていないので入っていないが、昨今の事情を鑑みてクマを入れることも検討する。
問 クマの痕跡が見つからないというアナウンスがあればあるほど、いざというときに間違いを犯す。人命最優先でしっかりした情報収集や対策、体制をとるべきだ。
回答 議員の気持ちは十分わかっている。最後は銃猟ということも考えており、そういった欠けている部分は早急に整備し、しっかり対応したい。町民の安心、安全を確保していく。
問 クマ対策は、まずは人的被害を防ぐ。長期的に



▲県道にはクマ注意を促す案内が

は緩衝帯の整備が重要だ。耕作放棄地や遊休農地等管理、森林整備事業、定点カメラ設置等整備していくべきだ。
回答 一般的にすみ分けは有効だと思うが、銃猟による個体数削減も効果的なので、捕獲隊の意見も聞きながら議員の言うように県の補助事業には応募していく。県河川の整備もしっかりと要望していく。

物価高対策で全世帯支援を

回答 できる範囲で取り組む

問 国の物価高対策として重点支援交付金が交付されるが、その使い道が課題だ。福島県の最低賃金が1033円となることを審議会が県労働局に答申した。答申通りになれば来年1月1日から実施される。中小業者から原材料等も上がっているが大変だ等の声も寄せられているが、最低賃金が上がることへの支援策を図るべきだ。また、国の重点支援交付金も示されているが、町民等しく全世帯支援を行うべきだ。
回答 国、県、商工会と連携しながら必要な支援を講じて、情報提供、相談体制の強化を図る。これまで国の交付金を活用して様々な支援を実施してきた。物価高の中、町民誰もが大変困っている。できる範囲で取り組んでいきたい。



寺島浩文 議員

安定した保育士の確保を

回答 職場体験や出前講座を開催

問 待機児童を出さないためにも、安定した保育士の確保が必要である。町としても保育士に対し、様々な支援を行っていくべきだ。UIJターン保育士支援事業など、様々な保育士支援制度を活用し、支援を拡充していくべきではないか。

回答 近年保育士の志望者が減少し、採用確保が難しくなっている。国・県においてUIJターン保育士支援事業をはじめ、保育士の就職支援に資する制度が整備されている。これらの制度は、保育施設における新たな人材の誘致につながる施策であり、本町としても必要に応じて制度活用、周知を図る事が重要と考える。

問 中高生に保育体験や動画・講演などで、保育の魅力伝える取り組みを行っているべきでは。

回答 例年、中学生の福祉体験学習の希望者に対し、町内保育所での職場体

験の受け入れを実施し、実際の保育現場に触れる機会を提供している。また動画や講演等を活用した魅力発信は、7月に尚英中学校において、保育所の概要説明を行う出前講座を開催し、保育士の業務内容や、やりがいや直接お伝えする機会を設けている。

誘致企業のフォローアップを

回答 就職の選択肢となる取組を行う

問 既存の誘致企業のフォローアップも重要と考える。既存の誘致企業の中には、業績が好調な事から事業拡大を考えているが、求人を出しても応募が無いという悩みを抱えている。担当課だけでなく、関係する部署全てでフォローし、地元採用を増やしていくべきではないか。

回答 応募者を増やす取り組みとして、「女性活躍推進」や「子育てサポート」、

「若者雇用促進」などを積極的に推進する国の認定制度の取得を促し、企業の魅力を高める事で応募につながる。若者や女性、仕事と育児の両立を目指す求職者に対し、安定した就業機会を得られる環境を整えられると考える。また小学生を対象とした町内の企業見学会や、中学生を対象とした職場体験を行い、町内企業の魅力を知ってもらい、将来の就職の選択肢となるような取組を行っている。

移住定住施策は

回答 しんち魅力体感・発信事業で魅力をPR

問 移住定住施策を推進するには、SNSによるインパクトのある動画の配信が有効と考える。動画による移住定住施策を強力に推進していくべきではないか。

回答 当町の魅力ある観



▲多くの応募があったモニターツアー

光資源を紹介し、交流人口の拡大を図り移住定住につながるため、令和4年度から町独自の情報発信事業として、「しんち魅力体感・発信事業」に取組んでいる。令和5年度に発信した動画は5万回以上再生され、その他一般モニターツアーとして「海釣り公園釣り体験ツアー」、「鹿狼山登山教室」、「画家とふれあうアート展」などを開催し、新地の魅力を体験してもらうとともに、「インフルエンサー招聘ツアー」等を行い、新地の魅力発信に協力いただき、積極的なPRに取組んでいる。

8年度予算編成の方針は

回答 限られた財源で効果的に



村上勝則 議員

問 令和8年度は町長選の年にあたり、一般的には骨格予算になると思うが、当初予算に対しての町的基本的方針は。

回答 令和8年度の予算編成にあたり、現在策定中の「第6次新地町総合計画後期基本計画」のもと、魅力あるまちづくりのための、各種政策の推進を図るとともに、少子高齢化や防災など従来の課題に加え、長期化する物価高や、老朽化する公共施設など、新たな問題にも対応していききたい。引き続き、健全な財政運営を維持するため、歳入の確保と歳出の健全化を進め、限られた財源で効果的な施策を展開するなど、予算編成方針を示している。

問 当初予算の町長査定は1月中旬になると思うが、これまでの組み方をみると、事業項目毎に前年度より削減するという姿勢で編成しているように思われる。来年度予算においても、同様の姿勢で臨まれるのか。

回答 現在、各課からの予算要求が終わり、これから査定段階になる。予算編成は限られた歳入予算の中で、歳出予算を編成することが重要だ。歳入歳出の要求内容を精査した上で、優先順位を定めながら、総合計画に沿った予算を編成していきたい。

問 令和6年7月からコミュニティバス「しんちゃんバス」を運行しているが、令和8年度も同様の予算措置、運行方法で継続する考えか。また、11月14日に関係者による会合が持たれたと聞いているが、改善等の意見はあったのか。

回答 1年5か月に渡り運行してきたが、利用者数は1日平均3名にとどまっている。現行の運行をそのまま続けるだけでは、事業の存続が難しいと考えており、利用者の乗車実績を分析した情報をもとに、利用者の増加や財政負担の軽減を目的とした見直しを実施する。また、来年1月から



▲1月から運行変更のしんちゃんバス



▲営業日は大幅縮小・海釣り公園

は、12月広報で案内したように、フリー乗降制の導入、運行日の変更、時刻表の変更の3点の改善を実施する。

弱者避難調査の共有を

回答 秘密保持等を徹底

問 要介護3以上の高齢者や重度身障者などの避難者や関係者など、緊急避難アンケート調査を行っている。各機関の情報共有は大切だと思うが、避難方法や人的役割などはどう対処するか。

回答 この調査は、支援を必要とする避難行動要支援者名簿を作成するために行っている。災害が発生した際に、どんな支援が必要かを把握し、適切な支援を確実にを行うための取組である。本人の同意を前提に、必要最小限の情報を関係機関と共有し、個人情報保護と秘密保持を徹底する。

問 行政関係者だけで、安全な避難は難しいと思うが、緊急時の中で、地域住民の協力は考えていないか。

回答 名簿は行政、福祉関係機関、消防、警察等と共有するが、行政区等を含めて検討したい。

議会傍聴

議会では、多くの方に議会活動を理解していただくため、議会の傍聴を受け付けています。12月定例会では、34名の方が議会を傍聴されました。行政区長に議会を傍聴しての感想などをいただきました。



議会を傍聴して

活発な議論で課題解決を

第5行政区長 岡田 義隆
12月の町議会定例会において行われた、町当局に対する一般質問を傍聴しました。議会を傍聴するのは初めてで、町内の各行政区長の方々とともに傍聴しました。今回の一般質問の中で、私が特に気になったのは、町のクマ対策についての質問でした。現在、クマの被害や目撃情報が全国で多発し、大きな社会問題となっている中で、新地町の対策がどのようなものになっているのかに注目していました。質問内容は、対応マニュアルの有無やハンターへの支援などについてでしたが、町当局の回答については、もう少し具体的な内容が示されると良かったと感じました。対応マニュアルについては、現在策定中とのこと

で、完成すれば良いと思います。ハンターに対する支援やなり手不足の問題については、現状からもう一歩踏み込んだ対策が必要ではないかと感じています。ハンター不足もクマ問題と同様に全国的な課題となっている中で、補助支援や担い手の育成については、現状の支援や対策だけではなかなか改善されないからこそ、問題が続いているのだと思います。引き続き、この問題の改善に向けて、町議会でも活発な議論が行われることを期待しています。また、議会を傍聴して感じたこととして、一般質問のやり取りの中で、聞き取りづらい場面が多々ありました。町の将来を決めていく重要な質疑応答が行われているため、議場全体で聞き取りやすい環境を整えられる必要があると感じました。現在の新地町には、食品スーパーの不足や、地域交通であるしんちゃんバスの

活用方法など、多くの課題があると思います。これらを少しでも良い方向へ導き、町を活性化していくためにも、町議会の役割は非常に重要だと考えます。今後もしっかりと尽力していただきたいと思っています。

活力ある新地町になるために

第14行政区長 鈴木 千芳
令和7年12月定例会の一般質問が、2日間の日程で行われ、行政区長会として傍聴しました。個人として議会を傍聴するのは、今回が初めてでした。私が傍聴した日は、4名の議員から11項目について質問が行われました。町の機構改革や財政面、しんちゃんバスについての質問が出る中で、私の印象に残ったのは、有害鳥獣対策、とりわけクマ対策についての質問でした。新地町は、これまでクマが生息していない地域だと思ってきましたが、最近になって町内でも複数の目撃情報

が確認されており、早急な対応が必要であると感じていたので、質問に対する町当局の回答は、概ね妥当なものであったと感じました。町では、目撃情報があった際には警察と連携し、ハンターとともに現地調査を行い、防災無線などを通じて町民への周知を図っているとのことでした。また、ハンターに対しても、補助金や奨励金などによる支援が行われていますが、財政面の課題がある中で、支援を行うことは難しいと感じます。しかしながら、質問のやり取りの中で、ハンター不足の問題が指摘されていたことから、引き続き対策の検討が必要であると感じました。現在の新地町は、全体的に活力が不足しているのではないかと思います。一方で、鹿狼山や豊かな海など、多くの魅力を持つ地域でもあります。その魅力を活かすためにも、町民の声を丁寧に聴き、課題の解決や政策の策定に取り組んでいくことを、町議会の皆さまに期待しています。

委員会レポート

総務文教常任委員会 地域企業との積極的なコミュニケーションを

株式会社リード 福島工場

10月30日、町内企業を訪問し、企業の現状や町に対する要望など意見交換を行った。
(株)リードは、平成27年度に新地南工業団地へ進出し、福島工場ではダイヤモンドワイヤ、ダイヤモンド切断ブレードを生産する。ダイヤモンドワイヤは月産20万kmの生産体制を構築、現在半導体分野におけるシェア95%を誇る。年商は31億円の会社である。社員数は190名、そのうち25名が福島工場に働いており、新地在住者は10名とのこと。平均年齢は34歳で、現場でも若い方が多いと感じた。福利厚生等に力を入れ、働きやすさを推進し厚生労働省のユースエール認定を受けている。課題は、新卒採用に苦慮している。高校新卒採用を近隣の高等学校に出して



▲株式会社リード福島工場

るが応募がない状況。少子化と大学入学率による影響が出てきている。他には、周辺の立木の倒木（過去に3回あり）で、万が一キュービクルへ当たるとも考えられ停電した場合、その影響額は大きい。町として、誘致企業への配慮も必要である。積極的なコミュニケーションに努め諸課題への対応等、良好な関係構築を図りたい。

議会を傍聴しませんか

★次回の定例会は、3月初旬開会の予定です。

議会は、所定の用紙に必要事項を記入して頂くことにより、どなたでも自由に傍聴することができます。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。
議会事務局（新地町役場3階）☎62-2190（直通）

産業厚生常任委員会

施設の適正な維持管理を

10月27日、公園管理の実態及び下水道処理場の維持管理状況について調査した。

○公園の維持管理と活用

釣師防災緑地公園のみんなの広場は、交流人口拡大のため無料開放を検討し、簡易ステージ設置など利用促進を図るとともに、町が主体となり商工会・漁協に働きかけて、町民総参加のイベントを計画されたい。

相馬地域開発記念緑地は、バーベキュー広場から水生公園へ行くルートの一體的な利用を検討し、近隣に総合公園もある事から、町の公園ゾーンの位置づけとして、利活用を図られたい。

農村公園等の維持管理に



▲一体的な利活用が望まれる記念緑地

ついて、行政区で行っている部分と、地区と覚え書きを締結しているものもある。行政区、地区と協議の上、認識の共有を図られたい。また、常時人が訪れ遊べる公園とするためにも、草刈りなど維持管理は重要である。公園へ向かうアクセス道路も含め、対応されたい。

○下水道処理場の維持管理状況

新地浄化センターは平成12年9月に供用開始し、1日あたりの処理能力は最大で2千6百立方メートル。放流先は砂子田川で、汚泥の処分は場外搬出している。維持管理は業務委託しており、費用は令和6年度で約4千8百万円、近年は微増傾向で推移している。浄化センターについては、供用開始から25年が経過している。機械や設備も含めマンホールポンプ場など、計画的な維持管理に努められたい。



▲浄化センターで町職員より説明

観光による交流人口拡大へ 連携し取組みを

11月18日、観光行政について調査した。

令和4年度から令和6年度にかけて実施した「しんち魅力体感発信事業」では、新地町の魅力発信を通じた風評払拭及び交流人口の回復・拡大を目的に、各種イベントの開催や情報発信の強化に取り組んできた。特に、インスタグラムのストーリーをほぼ毎日更新する「365CM」など、継続的な情報発信を行っている。

今後は、観光による交流人口の拡大を、農林水産業や商工業の振興につなげるため、農漁業者や商工業者と連携した取組を一層進め、地域経済の活性化を図る必要がある。

「しんち魅力体感発信事業」等で得られたアンケート結果の分析を行い、産業



▲鹿狼山各コースの整備で安全性を高めて

振興や定住促進に資する施策として、観光協会を中心に計画的な取組を進められたい。また、福島県北の玄関口である新地町の特性を踏まえ、観光協会及び観光案内所について、町民と町外来訪者が交流できる場として再検討し、にぎわいと発展の拠点となるよう努められたい。

研修報告

議会運営委員会

議会のデジタル化推進へ

(宮城県加美町)

11月4日、議会のデジタル化推進などについて、宮城県加美町議会を研修した。

加美町議会では、効率的で迅速な議会運営と情報共有の推進、議会改革を目的に、平成30年12月、宮城県内の町村議会で初めてタブレット端末とペーパーレス会議システムを導入した。現在は執行部管理職にも導入されている。

議案や会議資料等の共有が迅速化され、委員会資料の事前公開により、議会運営及び審議の効率化が図られた。議員は、場所を問わず資料閲覧が可能となり、町民への説明や資料検索の利便性が向上した。併せて、事務局及び執行部においても、資料配付業務の軽減や事務コストの縮減など、業務効率化の効果がみられる。一方で、議員間における操作習熟度や端末利用状況に差があることが課題とされている。新地町議会とし



▲加美町議会での研修

ては、周辺議会の動向や町内のICT教育推進の状況を踏まえ、議会のデジタル化・ペーパーレス化は不可欠であるとの認識のもと、先進事例等を参考に、タブレット端末導入に向けた調査・検討を進めていきたい。

議会日誌

10月

- 1日 議会広報編集委員会
- 4日 町内3保育所運動会
- 7日 議会広報編集委員会
- 9日 相馬地方市町村議会議員親善パークゴルフ大会
- 10日 議会広報編集委員会
- 18日 町内3小学校学習発表会
- 19日 消防団秋季演習
- 20日 福島県町村議会議員研修会
- 21日 相馬地方市町村議会議員・幹部職員合同研修会
- 24日 尚英中学校校内文化祭「ゆずの香り祭」
- 27日 産業厚生常任委員会
- 30日 総務文教常任委員会

11月

- 2日 町文化祭
- 4日 議会運営委員会行政視察
- 6日 第24回山元町・新地町議会議員交流会
- 8日 ふるさと産業まつり
- 18日 産業厚生常任委員会

12月

- 1日 議会運営委員会
- 2日 PTA要望活動
- 5日 第5回新地町議会定例会（～10日）
- 11日 町商工会青年部との意見交換会

ようこそ新地町へ

自然が豊かな楽しい町

原相善地区にお住まいの佐藤駿一さん
に、新地町の印象や、望むことなど、
お話を伺いました。

新地町に居住したきっかけ

2人目の子どもが生まれ
たことを機に私の実家があ
る新地町へ引っ越しました。
結婚当初から、南相馬市の
アパートに住んでおりまし
たが、自分が育った安心安
全な環境で子育てをしたく
新地町への移住を決断しま
した。

町の印象は

新地町は、海、山ともに
自然がとても豊かで、産業
まつり等地域のイベントも
豊富で、住んでいて楽しい
町です。週末には家族全員
で、新地総合公園や釣師防
災緑地公園で遊んだりする
のが日課になっています。
また、地域の皆様がとても

町づくりについて

温かく、子育てするのに良
い環境だと思います。

今以上に魅力ある町づく
りの為に、屋内公園の整備
と小学校、中学校の通学バ
スの導入です。屋内公園は、
雨や雪、強風、寒さ暑さ等
の天候に影響されなない為、
安全で快適な遊びや運動の
場になると思います。家の
中で過ごしがちな子どもた
ちの体づくりと健康促進に
繋がります。



編集後記

新たな年が明けまし
た。今年の干支は「丙午
(ひのえうま)」。情熱的
でエネルギーが豊富、そし
て強い信念を持つとされ
る干支です。町では令和
8年度からの「第6次総
合計画後期計画」の検討
が進められています。5
年後を見据えた明確な目
標を設定し、馬のように
勢いよく、目標に向かっ
て強く歩み出す一年にし
たいものです。

私たち議員も地域の皆
様とともにまちづくりを
進めていきたいと思いま
す。今年もよろしくお願
いいたします。

(大内広行)

編集委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 村上 勝則 |
| 副委員長 | 吉田 博 |
| 委員 | 八巻 秀行 |
| 委員 | 牛坂 毅志 |
| 委員 | 大内 広行 |



プロフィール

佐藤 駿一さん (原相善地区)
妻、子ども2人の4人暮らし